

第24回長野マラソン

【出場結果】

実施日 : 4月17日(日)

コース : 長野マラソン長距離競争路(日本陸連公認、AIMS公認)
長野運動公園～長野オリンピックスタジアム(42.195km)

出場者 : 坪井 響己

リザルト:

LAP ()は5km毎のLAP	坪井
5km	16'14"
10km	32'41" (16'27")
15km	49'19" (16'38")
20km	1:05'51" (16'32")
ハーフ	1:09'27"
25km	1:22'16" (16'25")
30km	1:38'40" (16'24")
35km	1:55'08" (16'28")
40km	2:12'13" (17'05")
GOAL	2:19'49" 自己ベスト
順位	9位/4,890名

【レポート】

コロナ禍ではありますが、主催者側のご尽力により「安心・安全な大会運営」を掲げて3年ぶりに長野マラソンが開催され、4月1日付で入社した信州大学卒の坪井が自身3度目となるフルマラソンに出場しました。

学生時代に2回のマラソンを経験していますが、いずれも後半に失速して2時間25分台でのゴールとなったため、まずは2時間20分を確実に切ることを目標にレースに臨みました。



落ち着いた表情でレースを待つ坪井(ナンバーカード104)

目標記録を達成するために序盤から5km毎のラップを16分30秒前後で刻み、後半の落込みを最低限に留めるため、集団の中で力を蓄えながらレースを進めました。



集団の中でリラックスしてペースを刻む坪井

中間地点（ハーフマラソン）を1時間9分27秒で通過し、目標タイムの2時間20分切りを目指すには絶好のペースでレースを進め、表情にもまだまだ余裕が感じられたことから、後半のペースアップに期待が高まりました。



30km 地点でも力みの無いフォームでレースを進める坪井

35km までは集団でしっかりとペースを刻むことができ、8 位の入賞ラインも見える位置をキープしていましたが、そこから集団のペースが切り替わると身体が固まりはじめ、集団から徐々に遅れ出して表情が険しくなりました。

しかし、目標記録の達成と入賞を目指して、ひたすらにゴールを目指しました。



ラスト 1 km ! 苦しい中、8 位入賞ラインを争う坪井



目標記録を更新する自己新記録でゴールする坪井

ラスト 1 km では後ろから追ってきた選手と 8 位入賞をかけて激しく競り合いましたが、結果的に惜しくもラストスパートで競り負け、8 位入賞は逃したものの、自身が目標に掲げた記録は更新し、2 時間 19 分 49 秒の自己新記録でゴールしました。



これからの活躍を楽しみにして下さい！！

【総括】

坪井は4月1日に入社したばかりですが、自身3度目のマラソンで自己記録を更新し、この先の活躍が非常に楽しみな幸先の良い結果を残してくれました。

学生時代とは環境も変わり、まずは何よりも生活のリズムに慣れることを優先して仕事と競技の両立を目指して欲しいと思います。

なお、次に出場を予定するレースは5月に開催される「ゴールデンゲームズ in のべおか」の5000m、同じく5月に開催される「東日本実業団陸上競技選手権大会」では10000mとなり、ここでも自己記録更新にチャレンジして参ります。

当社での競技生活は始まったばかりですが、必ずや若手のホープとして成長してくれると確信しておりますので、これからの坪井の活躍にご期待下さい。

今後とも、皆様の温かいご声援をお願い致します。

以 上